

2輪スポーツ走行クラス 「筑波ライセンス」のみ走行できるクラスです

Bクラス

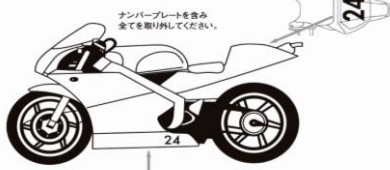
1分02秒～
1分07秒999まで

* 走行基準タイムに満たない方は、Aクラスにて走行してください。

【競技車両】 [筑波選手権・ツーリスト・テスト車両など]

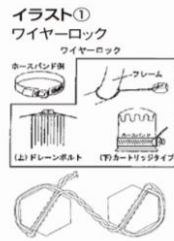
- ・市販時の排気量が500cc以上の車両
- ・排気量250cc～500cc未満の車両で、『B認定』を受けた方
- ・旧GP250クラスに該当する車両[RS250R・TZ250]

競技車両



※シート形状によってはシートカウル上部ゼッケンも(進行方向を上にする)シートカウル上部ゼッケンの場合、サポートゼッケンが必要となります。レース車両の文字の寸法については、MFJ規則を参考にしてください。

※リアセーフティライト装着規定車両は装着状態での走行を認めます。



写真①ヘルメットリムーバー



写真②
チェストガード



エアバッグベスト



●走行基準タイム

走行基準タイムは、平均的に走行できる1周あたりのタイムです。ベストラップではありませんのでご注意ください。
基準タイム内で走行できない場合は、他の車両に危険をおよぼすこともありオフィシャルの判断にて走行を中止させていただく場合もあります。

●走行音量

走行中にナンバー付き車両100dB/競技(レース)車両110dBを超えた車両は走行を中止していただきます。
※自走でご来場の際は保安基準適合音量を超えないようご注意ください。

●ヘルメット(注1)

ヘルメットはフルフェイス型のみになります。※MFJ公認の物を強く推奨します。ジェット型・フリップアップ型・オフロード型は使用できません。一度転倒等で衝撃を受けたものや、外傷がなくても使用が2年以上過ぎたものは新しいヘルメットと交換してください。

【推奨】万が一の転倒時に迅速なレスキューならびに自己の安全のため、ヘルメットリムーバーの装着を強くオススメします。写真①

●レーシングスーツ(注2)

革製もしくは革製と同等素材のものを着用してください。【推奨】MFJ公認「スーツ」を推奨。
転倒による破れ等はメンテナンスを行ってください。※セパレートタイプ(ファスナー付きに限る)はMFJ公認のものに限ります。

●脊髄パット(注3)

脊髄パットの装備がないレーシングスーツを着用される場合は、必ずインナー脊髄パットを着用してください。※レースは義務となっています。

●レーシンググローブ

レーシンググローブを着用してください。軍手や布製のグローブ及び肌が露出するようなグローブは禁止です。

●レーシングブーツ

レーシングブーツを着用してください。革製のロングシューズ等は禁止です。

●チェストガード・エアバッグベスト

【推奨】ライダーの身体を保護するチェストガード(胸部プロテクション)、エアバッグベストの使用を推奨。写真②

●オイル受けアンダーカウル

全ての4サイクル車両はオイル受けアンダーカウル装着が義務となります。未装着車両の走行はお断りします。

●ワイヤーロック (イラスト①)

エンジンのドレンボルト類は確実に固定され、ドリルで穴を開けワイヤーで所定の位置に固定してください。
オイルパンに進入する外部オイルフィルターのスクリューやボルト、ブレーキキャリパーボルト及びパッドピンのワイヤーロックを強く推奨します。

●冷却水

冷却水は水(レース用として一般販売されている冷却水含む)に限ります。

●リヤスプロケットガード

身体の一部がチェーンとリヤスプロケットに挟まれることを防ぎます。材質は金属、頑強なプラスチック、樹脂などを使用し、シャープエッジにならないようご注意ください。なお、スイングアーム(補強部分も含む)がリヤスプロケットガードを兼ねることは認められます。

●ゼッケン

フロント1枚、リア左右1枚を確認しやすい位置に貼付してください。
文字の最低寸法：高さ120mm 幅80mm 太さ25mm 数字の間15mm

●ビブス

サーキット走行が初めての方や慣らし走行をされる方は、ビブスの着用をお願いいたします。ビブスは各コースのコントロールタワーにて貸し出しを行っております。
貸し出しの際にライセンスカードを忘れずにお持ち下さい。ビブスの色によって内容が異なります。 蛍光イエロー：初心者 蛍光ピンク：慣らし走行

Bクラス 『認定』について

Bクラス	排気量250cc～500cc未満の車両で、ベストラップタイム1分04秒999以内を記録された方 ・過去2年以内に筑波サーキットで開催された競技会(公認・承認)公式リザルトのベストラップタイムがB認定基準を満たした方 ※申請時ベストラップタイムの確認ができるリザルトの提出が必要です。
認定条件に該当する方は、認定申請書とリザルトを提出してください。 認定を受けた方で、走行状態により再度認定が必要な場合がございます。	